

## 地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 神戸の冬を支える会	代表者名	理事長 森山一弘
事業名	刑余者等の社会復帰と生活再建および再犯防止のための支援事業		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2017年4月～ (随時)	関係機関から出所・釈放者（予定者）について支援依頼があった場合、面談を行い支援計画を作成し、支援を実施（住居確保、各種福祉施策の利用支援など）（本人からの支援要請も含む）
2017年7月～ (随時)	住居確保後、自宅訪問。生活状況を確認するとともに、相談、悩みを聞くなどして、居宅生活後に明らかになった問題の解決について関係機関につなぐなど必要な支援を行い、また、必要に応じて就労支援を行った。
2018年1月	支援対象者へ年賀状の送付

### <効果と成果>

<p>刑事施設等から帰るべき住居がないまま釈放され、そのままホームレス化する方が多く存在する中、関係機関と協力し、それらの方の住居確保事業を実施した。本事業の実施により2017年度中に行った相談・支援の実績は以下の通り。</p> <p>刑事施設等からの釈放者等の相談件数 145人          （相談依頼元）保護観察所12人、刑務所8人、更生保護施設7人、弁護士16人、福祉事務所72人、本人28人、その他2人（病院、不動産業者等）          （住居確保支援件数） 111人（実際に住居を確保した方の数）</p> <p>服役中の方への面談8人（12回）、勾留中の方への面談16人（29回）、服役中の方との手紙のやり取り8人          刑事裁判での情状証人として出廷6件、意見書提出6件          自宅訪問の実績8人（76回）</p> <p>今後は、保護観察所や更生保護施設、弁護士会など関係機関との協力、連携を強化するとともに、理解のある不動産業者との連携の拡大を図っていききたい。</p> <p>また、国が決定した再犯防止推進計画の実効性のある実施のために、NGO/NPOとして提言を行うなどを行っていききたい。</p>
--

<収支決算書>

(収入)

項 目	金額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金	10,343
播磨社会復帰促進センターよりの面談費及び交通費等	43,240
合 計	553,583

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	交通費	11,740	3,500
	人件費	482,646	437,303
	燃料費	26,160	26,160
	その他 (通信費)	19,800	19,800
	小 計	540,346	486,763
間接経費 (一般管理費)		13,237	13,237
	合 計	553,583	500,000